

解答例

第一段落（主張＋理由） 著者の考えを一言で抽象化

著者は自分を変えるためには、今できることから行動を起こすことが大切だと述べている。

私も著者の意見に賛成だ。なぜなら、何か完璧にできるようになってから行動しようとする、その日はいつになっても来ないと思うからだ。

第二段落（自分の体験を「自分ダメ出し成長ストーリー法」で書く）

※著者の考え→自分の具体的な事例に置き換える（具体化）

著者は現状ありがちな人として、自己啓発書を読み続ける人、家にいて今までの行動パターンを続けるのがよくないと述べている。それを似たような自分の体験に置き換える。

体験（変化前の自分＝ダメだった自分） 著者が語っているダメな現状を、自分の体験に置き換える

私は将来、プログラミングの仕事につきたいと思っている。コンピューターで成功した人の偉人伝を読んだり、ゲームで遊んだりはしていた。

どこに問題があった？（できなかった）原因は？

著者が語っている「できない理由」を、自分に置き換える/そのまま使っても OK

実際には、プログラミングの勉強はしたことがなかった。やはり自分には難しい気がしていたし、どうやって学んでいいかわからなかったからだ。

どうやって解決した（する）？

その体験（具体化）の結果どんな学びを得た（再び抽象化）？

著者が語っている「わらしべ＝すごい武器じゃない」ものは自分にとってのわらしべに置き換える（著者は、①わらしべをもって②外にでる が大切だと考えている。これを満たすよう考える。）

下の例だと、わらしべ＝プログラミングの体験講座に参加（及び参加する勇氣）

小6の夏休みに、通っている塾でプログラミングの体験講座があったので、勇氣をしばって参加してみた。

初めてプログラミングを学んだが、思った通りやはり難しかった。でも、やる前は何が難しいのかすらわからなかったが、やった後は何が難しいかが分かった。つまり、挑戦することで、自分の夢の実現に、今、足りない部分がよくわかった。

第三段落（まとめと、今後の抱負・中学入学後に学びをどう応用するか）

「まとめ（抽象化）」または「まとめ（抽象化）&具体的にどう応用するか（具体化）」

問題で具体的にどう活用していくかが問われていたらしっかり具体化する。特に求められていなければ、ざっくりと抽象化。

●抽象化だけの例

中学入学後も、心の中で「無理だ」と思ったときには、とにかく今の自分を変えるためには、勇氣をもって新しいことに挑戦してきたい。なぜなら、挑戦することによって、今、自分がやるべき課題が明確になり、その課題を克服していくことで、きっと、いつか自分の夢に到達できると思うからだ。

●課題文の捉え方

著者はA（あるべき姿=目的）のために、B（手段）が大切だと述べている。

私も著者の意見に賛成だ。なぜならC（著者の意見を違う言葉で繰り返し・または深掘り）だからだ。

（※または、「著者は、変えたい現状でなく、あるべき姿のために、Bが大切だと述べている」）

著者の意見（手段と目的をみつける）

著者は自分を変えるためには、今できることから行動を起こすことが大切だと述べている。

じゃどうする？（どうやってあるべき姿に近づける？）

最初は小さなとるに足りないと思えることでも、（自分の気持ちを大事にして）、とにかく、それをもとに挑戦してこう。

なぜ大切？

最初は小さなことでも、夢中になれる何かをやっていくうちに、できることが大きくなり将来の成長につながるから。

なぜできない？

行動を起こさない。
すごい自分じゃなければ、何かをやっちゃダメだと思ってるかも。

どこが一番の違い（手段）？

今、夢中になれる小さなことから
行動を起こすこと

※本文で「わらしべをもって外に出る」と言ってるが、それは比喩。きちんと抽象化する。

わらしべ→ 今、自分が夢中になれる、小さなこと
外にでる→ いろいろ挑戦する・行動をおこす

あるべき姿（目的）

自分（人生）を変え、夢を
かなえられる人になろう。

ギャップ

変えたい現状

自分（人生）を変えられな
い人が多い。結果、夢をか
なえられない。